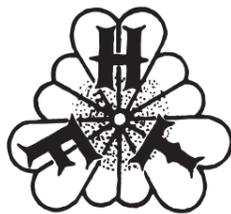


# 卒業おめでとう

## 全日制課程227名 定時制課程6名



発行所  
宮城県古川工業高等学校  
新聞委員会  
宮城県大崎市古川  
北町4-7-1  
電話 0229(22)3166  
http://furukk-h.  
myswan.ne.jp



校長 佐藤 誠

### 卒業に寄せて

まもなく、三年生の皆さんは卒業式を迎え、古川工業高校を巣立っていくこととなります。今年、コロナで始まりコロナで終わる一年となってしまいました。四月・五月の二ヶ月間の臨時休業、県総体始め各種大会、コンクールの中止、学校行事・夏休みの縮小、就職試験の一ヶ月後の倒し等々、コロナの影響を挙げ始めたら切りがありません。中には消化不良の一年だったと感じている人もいるかもしれませんが、一方コロナで制限された中でも、目の前のチャンスに全力で取り組み、素晴らしい成果を挙げた人もいます。三年生の皆さん一人一人が過ごした「コロナの中での高三生活」は、良くも悪くも忘れられない特別な思い出となるに違いありません。

私は、三年生が卒業を迎えるに当たり、いつも伝えていることがあります。それは、「その学校でしか手に入らないものが三つある。だからそれを大切にしよう。」という内容です。その三つとは、一つ目が「制服」、二つ目が「校歌」、そして三つ目が「卒業証書」です。まず一つ目の「制服」は、自由服の学校も増えている中、本

校では男女共学が始まって以来、変わらず現在まで、男子は詰襟学生服・女子はブレザーにスカートです。この制服に身を包み、入学以来三年間を過ごしてきた皆さんには、自分の制服にいろいろな思い出があるのではないのでしょうか。世間では、自分に関係のない学校のおしゃれな制服を買って着飾る、なんていう風潮も出てきていますが、本来制服はその学校の生徒しか着られないもので、その学校の生徒にとってこそ意味があるもの

です。二つ目の「校歌」は言うまでもなく、その学校の生徒や卒業生などにとり、学校への帰属意識を象徴する最も大きな要素です。どんなにいいメロディーや歌詞でも、その校歌を持つ学校と関係のない人にとっては、単にいい歌程度の意味合いしかないでしょう。しかし、学校生活を過ごす中で、事あるたびに皆で歌い一つになった経験を持つ生徒にとっては、自分と仲間の絆を確かめる重要な存在に違いありません。その証に、校歌は在校生だけでなく、卒業生にとっても心の拠り所として、同窓会の行事等で歌い継がれています。

三つ目の「卒業証書」は、その学校を卒業した人に対して授与されるわけですから、当然その学校でしか手に入れることが出来ません。卒業式で授与される「卒業証書」には、一枚一枚に卒業台帳番号が記載されています。その番号は、この古川工業高校が開校してから連続して続く卒業生の人数そのものです。ただ現在卒業生が授与される卒業証書の台帳番号は、戦後の学制改革でスタートし現在に続く「宮城県古川工業高等学校」の、昭和二十三年卒業生が第一号となっており、それ以前の昭和九年から始まる前身の学校の卒業生は含まれていません。毎年発行する『学校要覧』によれば、令和二年三月までの全日制・定時制を合わせた卒業生の総数は二〇一六六名であり、今年度の卒業生の皆さんは、次の三万人へ続くスタートに立っているのです。世に出る卒業生が二万人を超えるということは、すごいことです。古川工業高校の卒業生であることを大いに誇ってください。

さてここまで、「制服」、「校歌」、「卒業証書」について、その意義を紹介してきました。三年生の皆さんには、卒業してもぜひこの三つをいつまでも大切にしたいと願っています。最後に、私が自分を鼓舞したときに思い出す言葉を紹介いたします。それは「やってみよう。やらないことは、やらずにできるわけではない」というものです。これは、平櫛田中という、明治から昭和にかけて活躍した近代日本を代表する彫刻家の言葉です。この言葉には続きがあり、「実践実践また実践 挑戦挑戦また挑戦 修練修練また修練 やってみよう。やらないことは、やらずにできるわけではない。今やらねばだれがやる」となっています。「わしがやらねばだれがやる」という強烈な自負と自信を持つのも後回しにしたり、言い訳したりせず、真つ正面から取り組む気持ちをつくるのにはふさわしい言葉だと考えています。

三年生の皆さんが、この古川工業高校を卒業して、進学・就職し、それぞれ新しい環境の中でチャレンジを始めるこの門出に、私から贈る言葉とします。皆さんの活躍を祈ります。



卒業にあたって  
機械科三年二組 永塚 真央

この三年間、様々なことがありましたが特にこの一年はより記憶に残る一年でした。私が新生徒会長となり、四月に入学してくる後輩たちのために頑張ろうとしていた矢先、世界中でコロナウイルスが流行りだしました。感染症対策で学校が休校となり後輩たちをちゃんと迎え入れることが出来なまま月日だけが過ぎていき生徒会長になったというのに何も出来ない自分に悔しさを感じました。しかし、学校が再開した後、体育祭や文化祭が規模縮小という形で行われるということ、私の進路は進学なので、生徒会長の経験を通して得たコミュニケーション力や積極性を無駄にせず頑張っていきたいと思えます。こんな私でしたが今までありがとうございました。

生徒会で全力を尽くし、コロナ禍でも皆に楽しんでもらうよう工夫を凝らしました。結果的にどちらも成功し、コロナ禍で行った行事だからこそ逆に深く思い出に残ったのかなと思います。生徒会長として、学校行事に深く関わることができ良かったです。

生徒会では進学なので、生徒会長の経験を通して得たコミュニケーション力や積極性を無駄にせず頑張っていきたいと思えます。こんな私でしたが今までありがとうございました。



卒業する先輩方へ  
電気電子科二年 遊 佐 真樹子

三年生のみなさんご卒業おめでとうございます。三年間の学校生活は充実することができたか？盛り上がる場面では盛り上がり真面目になるべきところではスイッチをすぐに切り替えることが出来、各種行事では中心になり皆を楽しませようという姿勢を感じました。そんな姿を見てとてもかっこいいと思います。

いまは。また、困ったときには声をかけてくれたり、一緒に笑い合ったりした日々は一生の宝物です。これから一人一人自分の夢に向かって進んでいくと思いますが、古川工業のことを忘れず自分の志を曲げることなく新天地で活躍してください。在校生一同、活躍を期待しています。

### 受賞おめでとう

- ◆皆勤賞
  - 土木情報科 佐々木 拓弥
  - 佐々木 遥香 鈴木 千智
  - 三浦 巧夢 渡辺 万葉
  - 伊藤 実那
  - 菅原 愛
  - 電気電子科 大場 さくら
  - 齋田 こはく
- ◆建築科
  - 小野寺 竜大 菅原 愛
  - 小野寺 竜大 菅原 愛
- ◆機械科1組
  - 加藤 幹紀 後藤 優空
  - 佐藤 栄志 千葉 優斗

- 千葉 龍馬
- 機械科2組 小川 空翔
- 加藤 孝貴
- 中澤 匠
- 久次 康輝
- 渡辺 雅志
- 化学技術科 石崎 芽依
- 伊藤わかかな
- 木村 朱里
- 高橋 遥香
- 本田 裕典
- FTH賞 自転車競技部
- ダンス部 千葉 瑠音
- 佐々木蔵人
- 今野 りお
- 機械研究部
- 化学技術研究部
- 全国・県表彰 御下賜金記念中央会長賞優良卒業生
- 電気電子科 大場さくら
- 東日本高等学校土木教育研究会会長賞
- 土木情報科 早坂 茜
- 東日本高等学校建築教育研究会会長賞
- 建築科 宮嶋 悠花
- 日本工業化学教育研究会会長賞
- 化学技術科 伊藤わかかな
- 日本化学会東北支部長賞
- 化学技術科 石崎 芽依
- 宮城県産業教育振興協会会長賞優良卒業生
- 土木情報科 佐々木遥香
- 建築科 菅原 愛
- 電気電子科 辻 晶子
- 機械科2組 渡辺 雅志
- 化学技術科 阿部 栞己
- 資格取得
- 危険物甲種・乙種全額取得者
- (甲種)化学技術科 石崎 芽依
- (乙種)電気電子科 佐々木佑弥
- 化学技術科 伊藤 夏見
- 伊藤わかかな 木村 利奈

- ジュニアマイスター顕彰特別表彰
- 建築科 宮嶋 悠花
- 機械科1組 増井 雄也
- ジュニアマイスター顕彰ゴールド
- 土木情報科 佐々木遥香
- 建築科 刈屋 怜音
- 藤原 蒼
- 宮嶋 悠花
- 機械科1組 増井 雄也
- 機械科2組 佐々木 蒼
- 化学技術科 伊藤わかかな
- ジュニアマイスター顕彰シルバー
- 建築科 伊東 真央
- 今井 楓
- 菊地 幹太
- 中鉢 響
- 電気電子科 鈴木 陽翔
- 辻 晶子
- 機械科1組 伊東 祐希
- 氏家 知哉
- 化学技術科 石崎 芽依
- 木村 利奈
- ジュニアマイスター顕彰ブロンズ
- 土木情報科 紺野 敦幹
- 佐々木柊斗
- 藤岡 永遠
- 松永 皇弥
- 三浦 巧夢
- 建築科 伊藤 実那
- 尾出 琢斗
- 折原 桜我
- 熊谷 咲花
- 松田 瑞稀
- 電気電子科 村山 俊介
- 機械科2組 三上 陽成

- 化学技術科 峯浦 大翔
- 伊藤 夏見
- 高橋 晴樹
- 宮城県バレーボール協会高体連バレーボール専門部 優秀選手
- 佐藤 直
- 加藤 愛土
- 佐藤 凜
- 宮城県体育協会 功績賞
- 伊藤 蒼大
- 宮城県高野連 優秀選手
- 小野 恋葵
- 宮城県高体連ハンドボール専門部 優秀選手
- 氏家 陸
- 葛谷 怜馬
- 宮城県高体連ラグビーフットボール専門部 功績賞
- 加藤 幹紀
- 宮城県高体連サッカー専門部 功績賞
- 鈴木 啓太
- 宮城県高体連ソフトテニス専門部 功績賞
- 畠山 友輝
- 後藤 優空
- 宮城県高体連柔道専門部 優秀選手
- 加藤ほのか
- 皿貝 悠馬
- 成澤 翼
- 宮城県高文連工業専門部 功績賞
- 菊澤 直柔
- 氏家 知哉
- 伊藤わかかな

# 部活動 大会等結果

## スキー

- 第70回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技
- 男子クロスカントリー 10kmフリースタイル
- 第1位 M12 上野 真人
- 第2位 M11 櫻井 一成
- 第3位 M12 久保 智裕

## 男子クロスカントリー 10kmフリースタイル

- 第1位 M12 上野 真人
- 第2位 M12 久保 智裕
- 第3位 M11 櫻井 一成
- 女子アルペン 大回転
- 第2位 E2 遊佐真樹子
- 女子アルペン 回転
- 第2位 E2 遊佐真樹子



学校対抗 男子総合 優勝(4年連続16回目) 女子総合 第4位 最優秀選手賞

インターハイ出場

E2 遊佐真樹子

M12 上野 真人

M12 久保 智裕

M11 櫻井 一成



- 第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会 宮城県予選会
- 男子クロスカントリー 10kmフリースタイル
- 第1位 M12 上野 真人
- 第2位 M12 久保 智裕
- 第3位 M11 櫻井 一成
- 男子クロスカントリー 10kmフリースタイル
- 第1位 M12 上野 真人
- 第2位 M12 久保 智裕

- 第43回東北高等学校スキー選手権大会
- 女子アルペン 大回転
- 第21位 E2 遊佐真樹子
- 男子クロスカントリー 10kmフリースタイル



準決勝 古川工業0-2羽黒(山形) 女子個人 ベスト8

48kg級 AI 三浦向日葵

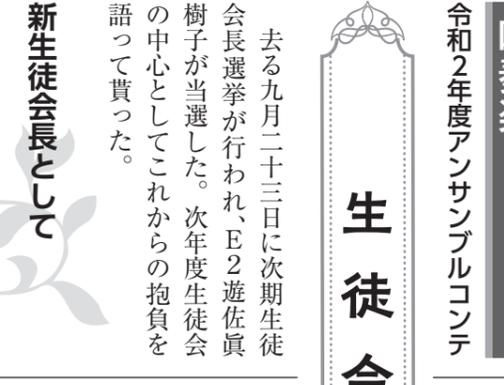
男子個人 81kg級

1回戦 M12 安倍 拓実



- 第43回全国高等学校柔道選手権大会 東北地区大会
- 女子団体 第3位
- 2回戦
- 古川工業1-0山形中央(山形)
- 準々決勝
- 古川工業1-0盛岡第一(出石)

- 卓球
- 第48回全国高等学校選抜卓球大会(個人の部) 宮城県予選会
- 男子シングルス
- 1回戦 M12 伊藤 大真
- 2回戦 M21 浅野 聖也
- 3回戦 M11 菅野 葵翔
- M12 出雲 瑞樹



吹奏楽

令和2年度アンサンブルコンテスト

**生徒会長として**

電気電子科二年 遊佐真樹子

去る九月二十三日(次期)生徒会長選挙が行われ、E2遊佐真樹子が当選した。次年度生徒会を中心としてこれからの抱負を語って貰った。

**生徒会役員**

生徒会長 E2 遊佐真樹子

副会長 Ch1 瀬戸 裕太

事務局長 E2 吉岡 美

執行局長 E2 横山 琴音

文芸局長 E2 高橋 美乃

体育局長 M21 佐々木 翼



- ダンス
- 第13回 日本高校ダンス部選手権 東北大会
- ビッグクラス
- 準優勝 チームBRISK
- スモールクラス
- 準優勝 チームBLAZE
- スト地区大会 銀賞
- 庶務長 E2 出雲 美咲
- 庶務 E2 柏 こと
- 庶務 E1 大友 慧叶
- 庶務 M12 上野 真人
- 庶務 M12 加藤 丈
- 庶務 M12 荒川 悠斗
- 庶務 Ch1 佐々木愛里沙
- 庶務 Ch1 千葉 ゆら
- 書記 E2 澤田 聡太
- 書記 A2 村上 碧
- 書記 M11 櫻井 一成
- 書記 M12 久保 智裕
- 書記 Ch1 我孫子大知